

天 我が材を生ず
必ず用有り

李白

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

天が自分という人間を
この世に生んだのには
必ず用、すなわち使命
がある。

李白

杜甫と並んで中国を代表する詩人。
七〇一年中国本土からはるか西の
土地、碎葉(現キルギス共和国のト
クマク付近)生まれ。中国全域を旅
し、「飲むからには一気に三〇〇
杯は飲み干さなくては」等「酒仙」
とまで呼ばれ酒を愛していたこと
で知られ、飲酒を礼賛した詩を数
多く詠んでいる。

いざな いぬ 神道知識への誘ひ「戌の日」

干支は年だけではなく、日ごとにも
割り当てられており、十二日に一度
「戌の日」があります。そして、戌(犬)
は多産でありながらお産が軽いとい
うことによやかり、昔から安産の象徴
として親しまれています。

妊娠五ヶ月目の最初に迎える戌の
日に、妊婦が腹帯(岩田帯)を巻き
無事の出産とお腹の子の健全な発育
を願い、神社で安産祈願を受けるこ
とが昔からの慣習となっています。

参拝後に両親や親族など内輪で食
事をして、生まれてくる子の話に花
を咲かせましょう。

